

平成28年度(2016年度)

管理事業名	総合福祉会館事業				総合計画の 体系	第3章 第4節	健康で安心して暮らせるまちづくり 地域での暮らしを支えるまちづくり			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	3	民生費	(項)	1	社会福祉費	(目)	10	総合福祉会館費
部局名	福祉部	予算執行所属		総合福祉会館						
予算大事業名 一般事務事業 施設管理事業 福祉活動の場提供事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名								
事業の目的と概要 高齢者、障がい者、母子、福祉等の関係団体に対し、貸館等で活動の場を提供します。										

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
延べ利用者件数	人	81,178	78,715	80,475	総合福祉会館の会議室等の延べ利用者数
成果の説明	総合福祉会館は、3センター機能(高齢者福祉、障がい者福祉、母子福祉)をもっており、それらを対象とした事業(市主催の事業及び各種団体主催事業)を行っているため公共性も高くなっています。また、関係福祉団体等の福祉活動の拠点として利用率は高いです。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	1,150	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,387	52,338	1,820	△50,518
経常収入 小計(a)	2,537	52,338	1,820	△50,518
給与関係費	35,171	39,010	38,589	△422
物件費	65,369	66,331	64,307	△2,024
維持補修費	22,056	53,896	18,583	△35,313
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,108	1,108	3,358	2,250
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	35,747	35,869	36,685	817
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,210	2,673	2,719	46
退職手当引当金繰入額	11,956	7,051	2,197	△4,854
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	173,618	205,938	166,438	△39,500
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△171,081	△153,600	△164,618	△11,018
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△171,081	△153,600	△164,618	△11,018
一般財源充当額	125,152	126,020	282,988	156,968
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△45,929	△27,580	118,371	145,950

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
その他経常収入	電話加入権過年度遡及登録に伴う過年度損益修正益 504千円
給与関係費	職員人件費、非常勤職員報酬
物件費	保安・清掃・警備業務委託料 36,294千円 光熱水費 15,338千円 消耗品費 1,647千円
維持補修費	非常用自家発電設備オーバーホール修繕 4,374千円 空調設備改修工事 153,904千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,537	52,338	1,316	△51,022
行政サービス活動支出	127,689	166,111	130,400	△35,710
行政サービス活動収支差額	△125,152	△113,773	△129,084	△15,311
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	12,247	153,904	141,657
投資活動収支差額	-	△12,247	△153,904	△141,657
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△125,152	△126,020	△282,988	△156,968
一般財源充当額	125,152	126,020	282,988	156,968
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動収入) 平成27年度に大阪府市町村振興協会市町村交付金(50,904千円)を受けていたため大幅に減少 (投資活動支出) 空調設備改修工事 153,904千円
--------------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者一人あたりにかかるコスト	平成26年度	81,178人	2,139円	総合福祉会館利用者一人あたり2,068円のコストがかかっています。
	平成27年度	78,715人	2,616円	
	平成28年度	80,475人	2,068円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	2,673	2,719	46
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	2,673	2,719	46
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産合計	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	1,769,422	1,886,641	117,219	固定負債	31,444	30,751	△693
土地	1,011,024	1,011,024	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	758,398	875,617	117,219	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	31,444	30,751	△693
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	504	504	その他固定負債	-	-	-
固定資産合計	-	-	-	負債の部合計	34,118	33,470	△647
事業用資産	-	-	-	純資産	1,735,304	1,853,675	118,371
インフラ資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	31,444	30,751	△693
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
重要物品	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,769,422	1,887,145	117,723
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,769,422	1,887,145	117,723				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

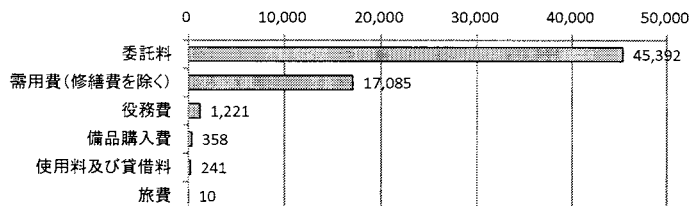
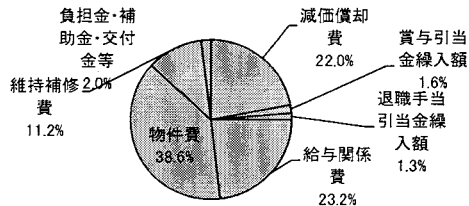
	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	4.4人	1人	223日	0人	
給与関係費等	36,782千円	4,767千円	1,956千円	0千円	43,505
内、時間外勤務手当	460千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物 (事業用資産)	減価償却による減 36,685千円 空調設備改修工事による増 153,904千円 差額 117,219千円
無形固定資産	電話加入権

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立総合福祉会館
取得年月日	昭和62年(1987年)4月1日
建物・工作物の取得価額	1,952,094 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,076,477 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		1.2	3.0	1.0	△ 2.0
施設老朽化比率		56.2	57.8	55.1	△ 2.7
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.0	70.7	99.5	28.8
経常費用対公共資産比率		9.7	11.5	8.5	△ 3.0

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

IV 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費 38,589千円(23.2%)、物件費 64,307千円(38.6%)、維持補修費 18,583千円(11.2%)、減価償却費 36,685千円(22.0%) となっています。物件費の主な内訳としては、保安・清掃・警備業務委託料 36,294千円、需用費(光熱水費 15,338千円、消耗品費 1,647千円 など)となっています。空調設備改修工事により事業用資産(建物・工作物)が増加しています。施設老朽化比率は55.1%で老朽化が進行しています。施設維持補修費比率は1.0%となっています。

経常収入につきましては、その他収入として、行政財産目的外使用に伴う光熱水費 910千円 などとなっています。費用の99.5%が税金などの一般財源でまかなわれている事業です。(平成27年度は大阪府市町村振興協会市町村交付金(50,904千円)を受けたため、一般財源充当比率が低くなっています。)

▽分析結果を踏まえた事業の課題

施設は昭和62年(1987年)に建設され、30年が経過しています。平成28年度に行いました空調設備改修工事 153,904千円のほか、平成26年度の昇降機設備改修工事 10,800千円、高圧受変電設備改修工事 9,061千円、平成27年度の外壁改修工事 51,192千円、消防設備改修工事 859千円、中央監視装置更新工事 12,247千円 など、経年劣化による修繕が多発しております。今後も施設を維持管理するためには、老朽化した会館の維持補修を計画的に行い、優先順位を検討したうえで、利用者に安心・安全に利用してもらえる事業運営に努める必要があると考えられます。